

?

調査概要

調査目的：	医師のブランド想起を元に、各プロモーションの有効性を定期的にトラッキング	有効回答：	約10,000s
調査方法：	インターネット調査	調査期間：	年4回（1・4・7・10月）
調査対象：	全国の臨床医	調査主体：	株式会社インテージヘルスケア

製品想起ランキング

※医師が製品5つを想起し、各製品の印象を評価。
 下記ランキングは印象が「ニュートラル以上(ポジティブ)」のみを分析対象とする。
 ※下記結果は診療科問わずTOTALで算出（診療科等による絞込みも可）

IMPACT
TRACKSOC
SHARE OF CHANNELS2020年1月
TOTAL想起数2020年1月
MR想起数2020年1月
ノンプロ想起数2019年10-12月
MR宣伝回数New:
2019年10月
TOP10圏外

1	タケキャブ
2	タリージェ
3	モビコール
4	ゾフルーザ
5	サインバルタ
6	グーフイス
7	リリカ
8	サムスカ
9	ベオーバ
10	イナビル

1	タリージェ
2	アレジオン
3	ベオーバ
4	タケキャブ
5	モビコール
6	ラスビック
7	パルモディア
8	グーフイス
9	テリボン
10	イベニティ

1	タケキャブ
2	リリカ
3	タリージェ
4	サインバルタ
5	モビコール
6	サムスカ
7	イナビル
8	グーフイス
9	ゾフルーザ
10	タミフル

1	タケキャブ
2	グーフイス
3	フォシーガ
4	モビコール
5	サインバルタ
6	ネキシウム
7	タリージェ
8	ベオーバ
9	リリカ
10	スージャヌ

SOC2020年1月 TOTAL想起数No.1はタケキャブ

全チャンネル総合で最も想起された薬剤はタケキャブであった。2019年1月ゾフルーザ、4月タケキャブ、7月タリージェ、10月タケキャブと続いて、20年1月タケキャブとなった。

タケキャブ・タリージェが上位であるが、前回と同様にタケキャブは「患者の声」「使用感評価」といったノンプロ想起数の割合が高く、タリージェはMRチャンネルによる割合が高い。

本調査結果・SOCに関するお問い合わせ ant-syndicated@intage.com

*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください

SOC
SHARE OF CHANNELSIMPACT
TRACKSOC
SHARE OF CHANNELSIMPACT
TRACK

	2020年1月 TOTAL想起 No.1	2019年10-12月 MR宣伝回数 No.1		2020年1月 TOTAL想起 No.1	2019年10-12月 MR宣伝回数 No.1
一般内科	タケキャブ	フォシーガ	一般外科	タケキャブ	タケキャブ
循環器内科	イグザレルト	エリキュース	心臓血管外科	サムスカ	エリキュース
消化器内科	タケキャブ	タケキャブ	消化器外科	タケキャブ	タケキャブ
呼吸器内科	テリルジー	テリルジー	呼吸器外科	キイトルーダ	キイトルーダ
血液内科	ダラザレックス	ダラザレックス	整形外科	リリカ	サインバルタ
糖尿病内科	ゾルトファイ	フォシーガ	脳神経外科	イーケプラ	タケキャブ
リウマチ科	オルミエント	シンポニー	乳腺外科	ページニオ	テセントリク
腎臓内科	エベレンゾ	エベレンゾ	産婦人科	レルミナ	ジェミーナ
神経内科	アジレクト	アジレクト	皮膚科	ドボベット	ビラノア
			泌尿器科	ベオーバ	ベオーバ
			耳鼻咽喉科	デザレックス	ビラノア
			精神科	レキサルティ	レキサルティ
			眼科	アレジオン	アレジオン
			小児科	モビコール	ゾフルーザ
			放射線科	EOB・プリモビスト	EOB・プリモビスト
			麻酔科	ブリディオ	タリージェ
			救急科	リコモジュリン	リコモジュリン

26診療科で“No.1薬剤”をそれぞれまとめた。
「製品想起」「MR宣伝回数」で“No.1薬剤”の異なる診療科は13診療科であった。

※ご興味のある方はインテージヘルスケア担当者までご連絡ください

本調査結果・SOCに関するお問い合わせ ant-syndicated@intage.com

*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください